

平成30年度第1回大町市ケーブルテレビ放送番組審議会議事録（要旨）

開催日時	平成30年7月31日 午後4時
開催場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
出席者	
審議会委員	鷺澤 恒夫 降旗 和幸 川上 洋 山崎 孝子 続麻 純生
事務局	降旗 剛 藤巻 孝之 小日向 茂 三原 孝子

会長選出及び職務代理者指名

- ・降旗和幸氏を会長に選出

説明事項

(1) 大町市ケーブルテレビ事業の概要について

- ・委員からの質問等

○チャンネルサービスの中にD-Lifeが入っていない。

→D-Lifeは旧大町市内のBSチャンネルでは視聴できるが、八坂美麻は放送の圏域が違うので視聴できない。

(2) 平成30年度番組編成について

- ・委員からの質問等

○「長野県ご当地○○対決」の提供県内5局とあるが、その中に大町は入っているのか。

→大町市では提供していない。長野県のネットワークでつながれている局が10社ほどあるが、そこでないとできない番組になっている。参入は、設備がないので現状ではできない。今後の予定も未定。

○「NAGANO 綺麗」では4Kで撮影した風景を視聴できるのか。

→4Kで撮影したものでも、現在の設備では2Kに変換しての放送しかできない。

審議事項

(1) 放送番組の視聴と感想

「きらりステーション」と「ぐるっとふるさと信越」(6/27にNHKイブニング信州でオンエアされたもの)を視聴

- ・委員からの質問等

○3,136世帯の加入者の中できらりステーションの視聴率の調査はしているか。

→一昨年に全体的なアンケートを行った。回答数は200程度で、視聴しているという回答が1番多かったのがきらりステーションだった。

○きらりステーションの王子神社のお祭りのニュース内で、流鏝馬が10町の内3町しか放送されていなかったため、特番の宣伝もしたほうが、そちらの視聴につながるのではないか。

→うまく次の番組の視聴につながるように、周知の仕方を来年検討していきたい。

○コンサートの部分で、文化会館の職員が遠く、テロップが遅くてはっきり聞こえない場面があった。

→ほかの報道人との位置取りの絡みがあり、うまくいかなかったと聞いている。ご了承いただきたい。

○観光情報で破碎ロックと特別ラベルのジュースの紹介があった。実際の商品の映像を出したほうが宣伝になる。

→そのような工夫のある放送が必要だと思う。観光課に連絡しておく。

- コンサートのチケットがまだ余っていると聞いた。そのことも宣伝したほうがいいと思う。
- 音楽会や運動会の放送の話題を友達のお母さんにしても、加入していない人が多い。小学校や中学校や自宅へ、直接加入促進に行ったほうがいいのではないか。
- 以前は小学校の入学式にケーブルテレビのチラシを配布していた。来年度できるか検討したい。運動会や音楽会の際に、取材した者が配布することも考えていきたい。
- 音楽会の撮影の際に、先生の陰に生徒が入ってしまうことがある。移動して撮影したほうがいい。
- 小学校によっては指揮者の先生が被る位置にきてしまう。改善していきたい。
- ケーブルテレビは高齢者世帯の視聴が多いので、その方向けの内容になっていることが多いかもしれない。保育園児や小学生がいる世帯は、自分で子供の撮影をする人が多いので、積極的に見る人が少なく、加入者は少ないと感じる。子供が放送に映りたくない人もいるので、「子供が映っていたよ」と言われるのも嫌な人がいるかもしれない。
- インターハイに出場する選手の様子が放送されていたが、パターンが決まっていると感じる。体操教室のインタビューがあったが、インタビューを受けていない選手にも、オリンピックを狙えるくらい実力のある選手がいる。大町市の場合は、本当にオリンピックに出て有名になるまで知ってもらえないのが現状のため、せっかくこのような番組があるのならクローズアップするような内容の方がいい。一連の決まった行事の放送もいいが、スポーツや文化的なインパクトのある番組も制作してはどうか。
- すぐというわけにはいかないが検討していきたい。

・事務局より

- 今後4K8Kについては審議会の意見も聞きながら検討していきたい。

(2) その他

・委員からの意見等

- 市長選挙の際に、青年会議所で公開討論会をした。ケーブルテレビでも撮影したが、選挙の後に放送されていて、それだと意味がないと感じた。生中継はできないのか。
- 文化会館には生中継の設備がある。告示の前に録画を放送できればよかったが、技術上の問題でできなかった。次回の教訓にしていきたい。